

報道関係各位

平成 22 年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：中島 実

TEL 03-6361-7100

新年、あけましておめでとうございます。

ここ数年、当社が推進してきた様々な施策は、確実に実を結んでいます。ツムラは本当にいい方向に進んでいると思います。今年も、さらに一歩前進するために、皆さんと一緒に頑張っていきましょう。

ツムラの漢方事業は順調に伸びていますが、昨年11月11日、政府の行政刷新会議のワーキンググループは、「事業仕分け」において、その範囲については継続審議するとのコメントはつけたものの、「市販品類似薬は保険適応外とする」という結論を出しました。本件については、日本東洋医学会を中心とする4団体が、保険適用の維持を求める要望書と署名簿を厚生労働省に提出しました。反対署名は、短期間で合計92万人にものぼりました。このことは、医療現場において漢方薬が治療薬として認知され、Dr. からも患者さんからも強い支持を得ていることの証であり、私たちが、ここ数年取り組んできた「漢方医学の確立」や「育薬」の成果であると考えています。

さて、昨年5月に新中期3ヵ年経営計画を策定し、公表しました。中期計画の滑り出しとしては、非常に良いスタートが切れたと思います。6つの活動目標の「漢方医学の確立」「育薬の推進」「漢方の国際化」「生産能力の増強と品質管理体制の充実」「安全な生薬の安定確保」「開かれた会社の創造」についても順調に進捗しています。

中期計画公表時に、私は「基本基調」を『伝統と革新』から、『社会や人々のお役に立てる企業』『人に優しい企業』に変更しました。企業はボランティア活動としてではなく、その事業により社会や人々のお役に立てること、人に優しいことで世間の人々に感動を与えることができる。そのようなことができる企業こそ、真に強い企業であり、当社のこの「基本基調」が開かれた会社の創造につながると確信しています。

昨年設立した子会社「夕張ツムラ」の第一の目的は、北海道における生薬生産の拠点構築ですが、生薬生産の長期的見通しとともに、加工場における雇用創出、障がい者雇用、財政再建団体である夕張市に対する経済的貢献等を進出構想として発表しました。障がい者雇用については、すでにツムラグループで取り組んでいるテーマであります。私は、ツムラの事業を通じて、障がいを持たれている方々や困っている地域の人々を助けることができればと考え、それをツムラグループ全体のテーマとし、障がい者雇用の3ヵ年計画を立案しました。障がい者の雇用率は、現在のところ2.4%ですが、3年後の雇用率は4%を目標にしています。障がい者雇用については、積極的に取り組み、人に優しい企業の実現を目指していきます。

さらに、ツムラは環境への優しさも配慮した循環型企業を目指していくべきであると考えています。漢方薬を製造すると生薬残さが生じます。現在日本では、この生薬残さは、最終的に全てが堆肥化などで再資源化されています。しかし、そのことに満足すべきではなく、自分の工場の残さを産業廃棄物として出し、その処理を他者に任せていることはむしろ恥ずべき状態であると思っています。

私は、中国の工場も含めたツムラグループ全体で、生薬残さの再資源化を進め、生薬栽培から、残さの処理までを「循環」の仕組みにしたいと考え検討を進めています。

ツムラは、間違いなく私の思い描く方向に向かって、一步一步前進していると思います。それは、社員全員が外部の誰にでも胸を張って誇れる、そんな会社への歩みであります。全員で力を合わせて、一日も早く、そんなツムラを作り上げていこうではありませんか。

以上